

- 問1 九州の南東部に位置する県で、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ピーマンなどの野菜を通常の時期より早く出荷する促成栽培や、肉用牛の飼育を中心とした畜産が盛んな県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 高知県 3. 宮崎県 4. 熊本県
- 問2 九州地方の宮崎県から鹿児島県にかけての南部一帯に広がる、過去の巨大な噴火によって噴出した火山灰などが積み重なって形成された台地を何と呼びますか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 根釧台地 3. 牧ノ原 4. 武蔵野台地
- 問3 宮崎県において、冬でも温暖な気候を活かした農業が発達した理由を、海流の性質と地形の観点から説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 沖合を流れる暖流が周囲の気温を下げにくくし、さらに北部の山地が冬の冷たい季節風を遮る役割を果たしているため。
2. 沖合を流れる寒流が夏場の気温上昇を抑える一方で、南側の平野部が日射を長時間受けることで年間平均気温が高まるため。
3. 寒流と暖流がぶつかる潮目にあたるため海面温度が安定し、平野部を流れる河川が常に霧を発生させて作物を保護するため。
4. 北部の山地から吹き下ろす乾燥した冷たい風が、暖流の湿った空気と混ざり合うことで、ビニールハウス内の温度を一定に保つため。
- 問4 日本国内にあるアメリカ軍の専用施設の面積のうち、約70パーセントが集中して置かれている都道府県はどこですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 神奈川県 2. 沖縄県 3. 鹿児島県 4. 長崎県
- 問5 地形図において大規模なくぼ地として示される地形で、火山の噴火活動によって形成された円形や馬蹄（ばてい）形の地形を何といいますか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. 火口 3. 盆地 4. 扇状地
- 問6 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。
2. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。
3. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。
4. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸出向けの果樹栽培に転換した。
- 問7 日本の海域における海流の性質と流れについて述べた文のうち、九州の西側から日本海へ向かって流れる暖流の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 暖かい海水が太平洋沿岸に沿って北上している
2. 冷たい海水が千島列島付近から南下している
3. 暖かい海水が南西から北東の方向へ北上している
4. 冷たい海水がユーラシア大陸沿いに南下している
- 問8 鹿児島県において、6月から7月にかけて降水量が著しく多くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 梅雨前線がこの地域に停滞しやすく、南方からの暖かく湿った空気が供給されやすいため
2. 夏に小笠原高気圧が後退し、冷涼な北東の風である「やませ」が吹き込むことで大気が不安定になるため
3. 年間を通じて安定した偏西風の影響を受け、瀬戸内海からの湿った空気が継続的に流れ込むため
4. シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかり上昇気流を発生させるため
- 問9 北海道、茨城県、新潟県、鹿児島県の4道県の農業産出額の内訳を比較したとき、鹿児島県の統計的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 総産出額の半分以上を畜産が占めており、その額は3,000億円を超えている
2. 総産出額の半分以上を米が占めており、畜産の割合は極めて低い
3. 野菜の産出額が最も多く、近隣の巨大消費地へ向けた近郊農業が中心となっている
4. 米、野菜、畜産の産出額がほぼ同等であり、特定の部門に偏らない多角経営が行われている
- 問10 多数の半島や島々を含み、海岸線が複雑に入り組んでいる長崎県の地形的・気候的背景と、それに基づいた農業の仕組みについて説明したものとして正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 広大な平野と火山の火山灰土を活かし、機械化された大規模な農地で小麦や大豆の生産が中心となっている。
2. 火山の影響で水はけが良すぎるため、稲作はほとんど行われず、砂丘地での乾燥に強い作物の栽培が主となっている。
3. 複雑な海岸線により冬の冷え込みが厳しいため、ビニールハウスを用いた促成栽培による野菜出荷が平野部で展開されている。
4. 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。
- 問11 沖縄県において、宿泊・飲食サービス業（8.3%）や医療・福祉（15.7%）などの第3次産業の就業者比率が、全国平均（それぞれ6.2%、12.5%）を上回っている理由や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 豊かな自然や独自の文化を活かした観光業が盛んであり、地域の生活を支える医療・福祉の需要も高いため
2. 農林水産業に従事する就業者が不足しており、食料品を加工・提供するサービス業が唯一の産業となっているため
3. 製造業の自動化が全国で最も進んだ結果、余剰となった労働力がすべて観光分野に移動したため
4. 広大な土地を活用した自動車産業の工場誘致により、関連するサービス業の雇用が全国一となったため
- 問12 沖縄県などが含まれる南西諸島の伝統的な家屋には、敷地の周囲に石垣をめぐらせたり、屋根瓦の継ぎ目を白い漆喰（しっくい）で固めたりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として、地域の自然環境をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 夏の日差しが非常に強いため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため
2. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため
3. 台風の通り道にあたるため、強い強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため
4. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため
- 問13 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。
2. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってきた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。
3. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。
4. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食品工業への転換が進んだ。